

1年で3万組以上が利用するWEB招待状「Weddingday(ウェディングデイ)」
公式インスタグラムアカウントに続く「読んで楽しい」「本当に役立つ」
ウェディングWEBマガジン「Weddingday Mag.」
11月22日(いい夫婦の日)提供開始
～ウェディングテックのさらなる加速化に貢献～

結婚式や二次会のWeb招待状サービス「Weddingday(ウェディングデイ)」(<https://weddingday.jp/>)を運営する株式会社canonica(カノニカ)(本社:東京都世田谷区、代表取締役共同創業者:千田弘和、安田直矢)は、本日より無料で楽しめるWEBマガジン「Weddingday Mag.」(<https://weddingday.jp/mag/>)の提供を開始いたしました。Weddingday(ウェディングデイ)は、日本で最初に提供された結婚式・二次会のWEB招待状サービスです。ウェディング業界のデジタル化「ウェディングテック」を推進し、より効率的にそして低価格にすることで、よりたくさんの方に結婚式・二次会を楽しんでいただきたいと思っています。そして、「Weddingday Mag.」では、WEB招待状に関わらず、インターネット上に散らばる結婚式に関する情報をまとめ、「読んで楽しい」、「本当に役立つ」ウェディング情報をテーマに更新してまいります。

「Weddingday Mag.」では、ビューティー、ゲーム・演出、幹事・司会、そしてゲストと4つのカテゴリーを中心に情報を発信し、結婚式・二次会準備の際に「本当に役立つ情報」をこまめに発信してい

きます。また、今後はウェディング業界で活躍する様々なプロの皆さんと協力・連携し、ウェディングのポータルサイトとして、「Weddingday Mag.」を盛り上げてまいります。

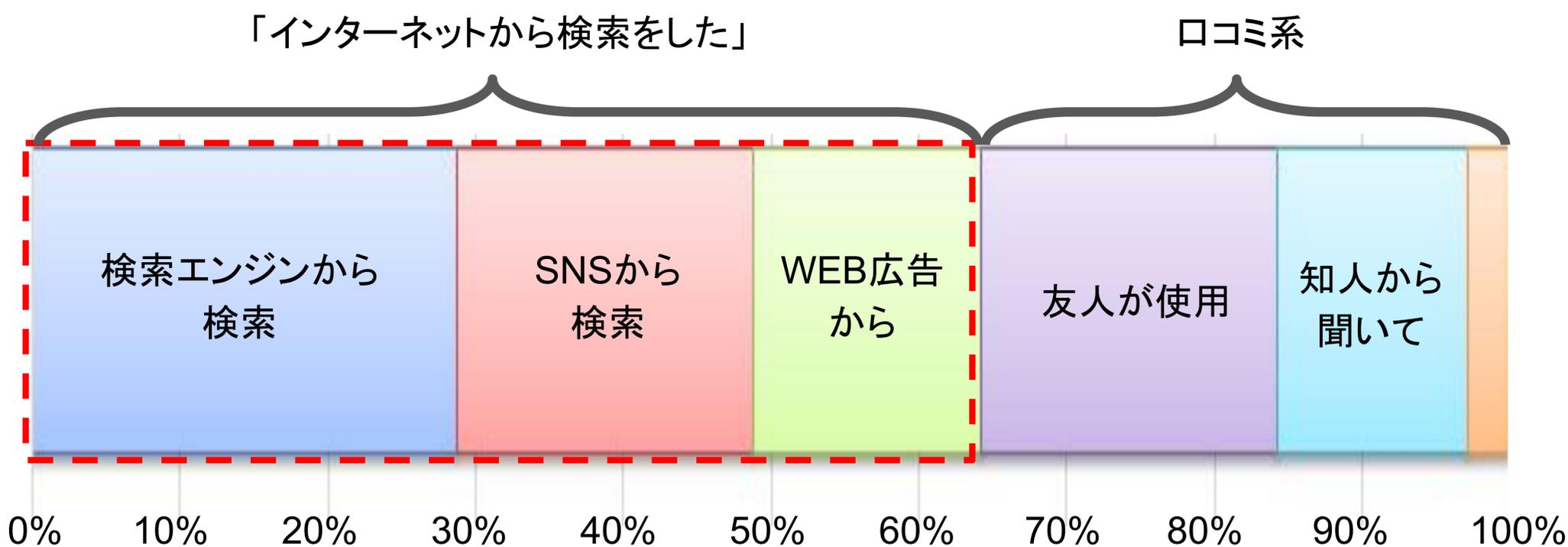



What's New
新着記事



日本における婚礼は、大正時代に武家社会から現代の結婚式の基本形が作られたと言われており、江戸時代末期に一般人にまで普及したとされています。挙式と披露宴のあり方は、バブル期の「ハデ婚」ブーム、バブル崩壊で「地味婚」志向や自由を重視した「ナシ婚」など、その時々のお景気に左右される傾向にあります。

そして現在では、「パーソナライゼーション」や「IT化」が注目を浴びており、昨今「ウェディング」と「テクノロジー」を掛け合わせ、ITや科学の力を使って結婚式を盛り上げる「WeddingTech(ウェディングテック)」という言葉も多く聞かれるようになってきました。実際にWeddingdayが2018年6月に20歳から39歳の女性1,373人を対象に行ったウェブ招待状についてのアンケートでも「インターネットから検索をした」という回答が半数以上に上りウェディング業界におけるITの普及が高まっていることがうかがえます。

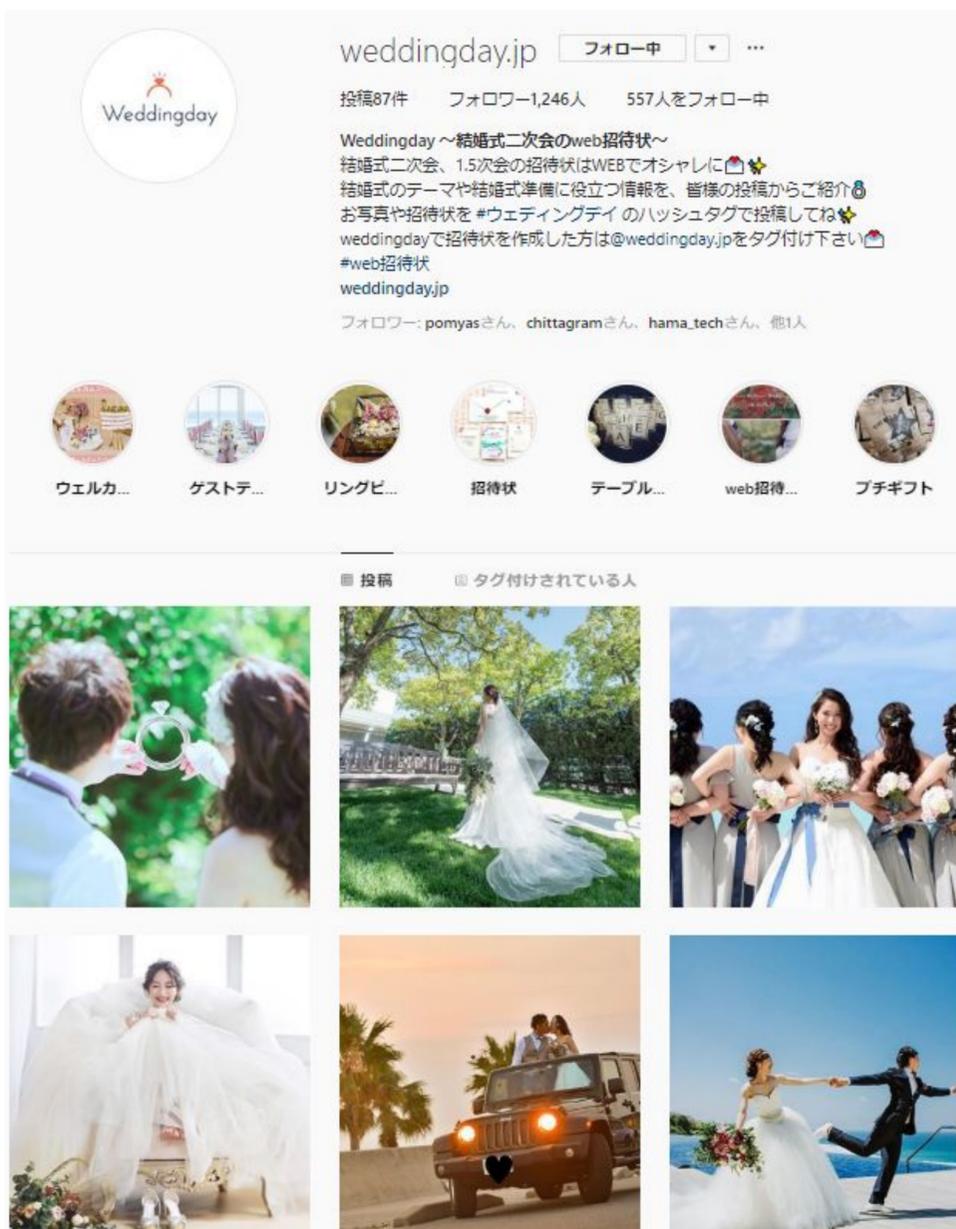


特にInstagramの登場で、ウェディング業界は大きな革新を迎え、一部ファッション誌などでは、「インスタ・ウェディング時代」などと呼ばれるほどの旋風を巻き起こしました。Instagramは、推計8億人のアクティブユーザーを抱え、約1億1100万枚の素敵な「#weddingphotography」写真であふれています。

(出典: Instagram)

Weddingdayでも2018年5月より公式Instagramアカウントを開始し、「憧れ」と「リアル」を追求した結婚式・二次会を提案しています。

「Weddingday mag.」では、結婚式・二次会の「読んで楽しい」「本当に役立つウェディング情報」、そして写真だけでは伝えきれない結婚式の魅力、疑問、アイデアをお届けします。



【株式会社canonica(カノニカ)概要】

株式会社canonica(カノニカ)は、結婚式や二次会のWeb招待状を作成できるサービス「Weddingday(ウェディングデイ)」の企画・開発・運営を行っています。

「Weddingday(ウェディングデイ)」は当初、代表者である千田が自身の結婚式・二次会の参加者管理の為に作ったことから始まりました。スマートフォンのみで手軽におしゃれなWEB招待状の作成・編集、参加者管理までできるところが特徴です。これまで紙の招待状で行っていた出欠確認をWEB招待状に置き換えることで、煩雑なやり取りをスマートにし、コスト削減を実現しています。

サービス開始以来紹介や口コミで利用者を増やし、**2017年の登録ユーザー数は3万組、2018年10月時点での累計利用者数は約400万人(ゲスト回答者を含む)に達し**、現在は結婚式・二次会を挙げる約10組に1組のカップルに利用頂いています。(出典:[経済産業省「サービス産業実態調査」](#)、[厚生労働省「人口動態統計月報年計」](#)、[ブライダル総研「婚姻数予測」](#))

さらに2017年には、結婚式・二次会費用の事前決済を可能にする「かんたん会費支払い」機能をリリースし、WeddingTech(ウェディングテック)の浸透に注力しています。

■社名:株式会社canonica

■代表者:代表取締役共同創業者 千田弘和、安田直矢

■設立:2017年10月2日

■canonica企業サイトURL:<https://canonica.co.jp>

■「Weddingday(ウェディングデイ)」サービスURL:<https://weddingday.jp/>

【インタビュー実施のお願い】

代表取締役 共同創業者 千田弘和

大学卒業後はエンジニアとしてシステムインテグレーターで働く傍らフリーランスとして数多くのWebサービスの企画・制作・運営に携わる。ITベンチャーの立ち上げや農業・IT分野での起業を経て、2013年に株式会社WILBYを設立。Webマガジン「SAKIDORI」を立ち上げ、2017年に同社の全株式を株式会社ビックカメラへ売却。2017年に株式会社canonicaを設立し「Weddingday(ウェディングデイ)」を運営する。

代表取締役 共同創業者 安田直矢

株式会社インテリジェンスにてIT関連企業の採用支援に従事。その後、ネット系ベンチャー企業にて新規事業の立ち上げを経て、ヨーロッパ最大手の成果報酬型広告プラットフォームを運営するFyberの日本法人立ち上げに参画。2013年に株式会社WILBYを設立。Webマガジン「SAKIDORI」を立ち上げ、2017年に同社の全株式を株式会社ビックカメラへ売却。2017年に株式会社canonicaを設立し「Weddingday(ウェディングデイ)」を運営する。

【お話できること】

- 「Weddingday mag.」について
- 「Weddingday(ウェディングデイ)」について
 - ビジネスモデル
 - 今後のビジネス戦略
 - ゲストが会費を事前にクレジットカードで支払える「かんたん会費支払い」機能について
 - 結婚式や二次会の会費は「当日現金払い」というこれまでの常識を覆し、受付をキャッシュレスにすることでスムーズな進行を実現。事前に支払うことでドタキャン率の減少にもつながっています。またパーティーの開催日より前に会費を受け取ることもできるので、当日はお金の心配をせずに思う存分パーティーを楽しめます。

《本件に関するお問い合わせ先》
Weddingday PR事務局
Email: pr@canonica.co.jp